

☆知多社会科同好会 自主研修会通信☆

平成29年9月13日 第86回

2学期の自主研がスタートしました！

9月13日（水）に自主研修会を行いました。山本校長先生（布土小）、鈴木先生（富木島小）、青木翔太先生、川本先生（雁宿小）、宮下先生（加木屋小）、浅野先生、井口先生（半田中）、青木孝輔（新知小）の8名で行いました。2学期に知教研や10年研の授業を控えている先生がいらっしゃるということもあり、今回は2つの学年の、社会科授業の単元構想が提案されました。



【提案①】

半田中の井口先生より、中学校3年生「国民主権と日本の政治」の単元構想について提案していただきました。

井口先生は、学習を「深める」段階で政治参画についての話し合いを行いたいと考え、その題材について時間をかけて検討しました。「話し合い」ということで、テーマを1つに絞ることや、メリット・デメリットの両方が分かるような資料を用意して読み込ませることなどが必要ではないかという結論になりました。また、現在の課題だけではなく、半田市の良さや力を入れているところに着目させることで、今後の半田市についてより広い視点から話し合うことができるのではないかという意見が出ました。一方向から出なく、多面的な見方から授業を組み立てることの大事さを学ぶことができました。

ちなみに、「深める」段階で話し合うテーマは「半田市民病院の移転先」になりそうです。

【提案②】

雁宿小の青木翔太先生より、小学6年生「国力の充実をめざす日本と国際社会」についての単元構想について提案していただきました。ここで主に話し合われたのは、①授業者の意図を指導案にどうまとめるか、②調べ学習の進め方と調べ学習から伝え合う活動へどうつなぐか、の2点です。

①については、授業者がこの単元によってどのような児童を育成したいかを明確にしてはどうかという意見が出ました。特に、知教研で目指している公民的資質（ここでは、「社会生活の様々な場面で多面的に考えたり、公正に判断したりする」）を育成したいというねらいをより伝わりやすくしては、ということになりました。

また、②については、明治時代の出来事を「政治」「戦争」「産業」「その他」で分け、児童自身が「これ」と決めたものを調べていき、発表したくなったり、他の分野も知りたくなったりするまで十分調べさせてはどうかという意見が出ました。ただ、この単元にかけられる時間数の関係もあり、どこまで追究させるのかについては今後の課題となりました。



10月の自主研修会について

日時…10月11日（水）19時00分 場所…雁宿ホール 2F 第二会議室

知教研の授業が間近になり、中身の濃い検討がされると思われます。先生方のお知恵をお借りしてよりよい話し合いができればと思っております。よろしくお願いいたします。